



Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの設定

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの制限, 1 ページ](#)
- [Wi-Fi Direct クライアント ポリシーについて, 2 ページ](#)
- [Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの設定方法, 2 ページ](#)
- [Wi-Fi Direct クライアント ポリシーに関する追加リファレンス, 5 ページ](#)
- [Wi-Fi Direct クライアント ポリシーに関する機能情報, 6 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このマニュアルの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの制限

- Wi-Fi Direct クライアント ポリシーは、ローカル モードの AP が含まれる WLAN のみに適用できます。
- WLAN クライアントに適用されるポリシーが無効の場合、クライアントは「クライアント QoS ポリシー障害」という項目理由のため除外されます。

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーについて

Wi-Fi Direct 対応のデバイスは迅速な相互接続が可能で、印刷、同期、データ共有などのタスクを効率的に実行できます。Wi-Fi Direct デバイスは、複数のピアツーピア (P2P) デバイスおよびインフラストラクチャ無線 LAN (WLAN) に同時にアソシエートしている場合があります。スイッチを使用して、Wi-Fi Direct クライアント ポリシーを WLAN 単位で設定できます。その際、Wi-Fi デバイスとインフラストラクチャ WLAN のアソシエーションを許可または禁止するか、WLAN に対して Wi-Fi Direct クライアント ポリシーをすべて無効にすることができます。

関連トピック

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの設定 \(CLI\) , \(2 ページ\)](#)

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーのディセーブル \(CLI\) , \(4 ページ\)](#)

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの監視 \(CLI\) , \(4 ページ\)](#)

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの設定方法

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの設定 (CLI)

手順の概要

1. `configure terminal`
2. `wlan profile-name`
3. `wifidirect policy {permit | deny }`
4. `end`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>configure terminal</code> 例 : Switch# <code>configure terminal</code>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<code>wlan profile-name</code> 例 : Switch# <code>wlan test4</code>	WLAN コンフィギュレーション サブモードを開始します。 <i>profile-name</i> は設定されている WLAN のプロファイル名です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	wifidirect policy {permit deny } 例 : <pre>Switch(config-wlan) # wifidirect policy permit</pre>	<p>次のいずれかを使用して WLAN の Wi-Fi Direct クライアント ポリシーを設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> • permit : Wi-Fi Direct クライアントを有効にして WLAN とアソシエートします。 • deny : Wi-Fi Direct ポリシーが「拒否」に設定されている場合は、デバイス機能に基づいてスイッチが Wi-Fi Direct デバイスを許可または拒否します。Wi-Fi Direct デバイスは、スイッチへのアソシエーション要求でこれらの機能をにレポートします。これは、このデバイスの Wi-Fi 機能に基づいて行われます。次の作業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 同時操作 • 相互接続 <p>(注) コマンド no wifidirect policy は、クライアントの Wi-Fi Direct ステータスを無視します。さらに、アクセスポイントはビーコンおよびプローブをアドバタイズしません。実際には、このコマンドの no 形式では、WLAN の Wi-Fi Direct 機能はディセーブルになります。</p> <p>Wi-Fi デバイスが同時操作または相互接続、あるいはその両方をサポートする場合は、クライアントの関連付けは拒否されます。クライアントは、デバイスが同時操作と相互接続をサポートしない場合に関連付けることができます。</p>
ステップ 4	end 例 : <pre>Switch(config-wlan) # end</pre>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。</p>

関連トピック

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーについて、 \(2 ページ\)](#)

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの監視 \(CLI\) , \(4 ページ\)](#)

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーのディセーブル (CLI)

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **wlan *profile-name***
3. **no wifidirect policy**
4. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wlan <i>profile-name</i> 例 : Switch# wlan test4	WLAN コンフィギュレーション サブモードを開始します。 <i>profile-name</i> は設定されている WLAN のプロファイル名です。
ステップ 3	no wifidirect policy 例 : Switch(config)# no wifidirect policy	クライアントの Wi-Fi Direct ステータスを無視し、それによって Wi-Fi Direct クライアントのアソシエーションを許可します
ステップ 4	end 例 : Switch(config-wlan)# end	特権 EXEC モードに戻ります。また、 Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

関連トピック

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーについて](#) , (2 ページ)

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの監視 \(CLI\)](#) , (4 ページ)

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの監視 (CLI)

次のコマンドが Wi-Fi Direct クライアント ポリシーを監視するために使用できます。

コマンド	説明
show wireless client wifidirect stats	関連付けられたクライアントの総数と、Wi-Fi Direct クライアント ポリシーを有効にした場合に拒否されたアソシエーション要求の数が表示されます。
show wlan summary	WLAN での Wi-Fi Direct の状態を表示します。
show wireless cli mac-address mac-address	クライアントの詳細情報を表示します。

関連トピック

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーの設定 \(CLI\) , \(2 ページ\)](#)

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーのディセーブル \(CLI\) , \(4 ページ\)](#)

[Wi-Fi Direct クライアント ポリシーについて, \(2 ページ\)](#)

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーに関する追加リファレンス

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
WLAN コマンド リファレンス	<i>WLAN Command Reference, Cisco IOS XE Release 3SE (Cisco WLC 5700 Series)</i> <i>WLAN Command Reference, Cisco IOS XE Release 3SE (Catalyst 3850 Switches)</i>

エラー メッセージ デコーダ

説明	リンク
このリリースのシステム エラー メッセージを調査し解決するために、エラー メッセージ デコーダ ツールを使用します。	https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Errordecoder/index.cgi

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/support</p>

Wi-Fi Direct クライアント ポリシーに関する機能情報

機能名	リリース	機能情報
Wi-Fi Direct の機能	Cisco IOS XE 3.3SE	この機能が導入されました。